



# 虹の原特別支援学校 高等部棟増築工事だより

令和6年1月号



発行担当者：宅島・野副JV 松尾

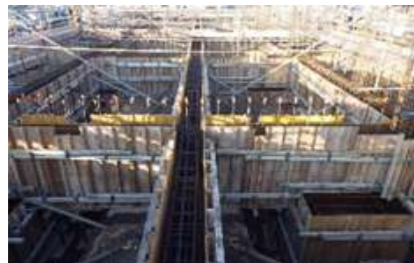
年も改まり、決意も新たにご活躍のことと存じます。  
日頃より地域の皆様方には、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。  
2024年は「甲辰（きのえたつ）」という年で、努力が実を結んで成就する年になるそうです。  
新しい校舎が無事に完成することを暗示しているかのようです。  
本年も無事故・無災害、安全第一で現場一丸となり全力を尽くし工事に取り組んでまいります。

## 【工事の進捗状況】

今月のメイン工事は「基礎のコンクリート打設」となりますので、打設状況をお知らせします。  
1月16日(火)の朝から総勢64名が集まり、工事に従事しました。

建築JV管理担当者	4名	コンクリート打設工	2組×5名	10名
電気管理担当者	1名	型枠大工		3名
設備管理担当者	1名	左官工	2組×3名	6名
ミキサー車配送・コンクリート試験担当	5名	雑工		2名
コンクリートミキサー車 20台折り返し	20名	誘導警備員		4名
ポンプ車 2組×4名	8名			
<b>合計</b>				<b>64名</b>

【事前準備】 1月11日までに鉄筋・型枠完了 → 12日 管理者検査完了



きびしい検査を受けています



## 【生コンクリート打設の流れ】



朝の朝礼  
ラジオ体操をして身体を  
しっかりほぐし、今日の  
仕事に備えます



打設ミーティング  
各担当の説明をし  
自分の役割を確認  
します

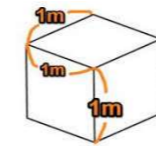


コンクリート受入品質検査  
注文した条件通りの品質が  
確認します

## 【生コンクリート打設の流れ】 2



ミキサー車からポンプ車へ  
生コンクリートをバトンタッチ



m³は「リゅうべい」  
や「りっぽうメー  
トル」と読むよ



ポンプ車から送り出された  
生コンクリートを型枠に  
流し込んでいきます



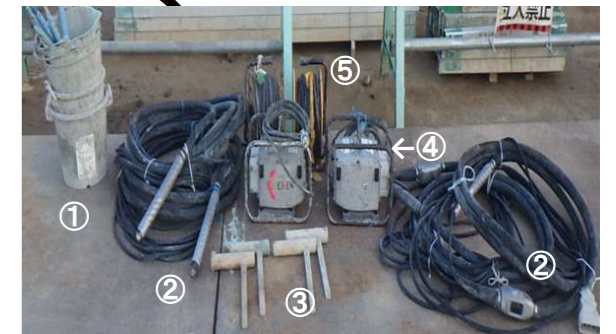
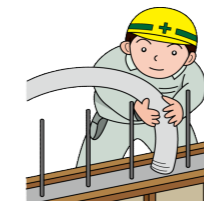
打設完了  
表面をコテを使って  
きれいにします  
そうじをして終わります

4m³の生コンクリートを積んだミキサー車20台が何度も往復し、合計73台(292m³)分が運び込まれました。どのくらいの量かと言いますと、1m³のコンクリートの重さはおよそ2.3tあるので、今回使用した量は292m³あり、およそ671.6t。ジャンボジェット機の重さが約160tですので、飛行機4.2機分の重さのコンクリートを使ったこととなります。

\*知っているも為にならない情報かもしれませんが、知っていると思える!?情報

右の写真は、生コンクリート打設に必要な5つ道具です。

- ① 清掃用バケツ・ブラシ
- ② 40mm高周波バイブレーター
- ③ 補助締め固め用叩き棒
- ④ バイブレーター変圧器
- ⑤ 配線用ドラム



「打設」とは、コンクリートを型枠に流し込む作業のことを指します。流し込む作業なのになぜ「打つ」と書くのか疑問に感じたかと思います。コンクリートを流してそのままにしておくと、型枠の端の方など十分に行きわたらずに、空気が入ってしまったりします。なので型枠の中に隙間なくしっかり入るように、棒で入念に叩いたり突いたりしながら空気や余分な水を追い出すという作業を行うため「打設」と呼ばれています。



説明担当：高山サン

次回2月号は、現在出来ている部分の紹介と埋め戻しについてお送りしたいと思います。完成まで無事故で終わるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※工事に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

虹の原特別支援学校高等部棟増築工事 作業所  
現場事務所住所 大村市宮小路3丁目(虹の原特別支援学校グラウンド内)  
宅島建設株式会社 0957-75-0222  
施工者：宅島・野副特定建設工事共同企業体 現場代理人：松尾

